

平成 23 年度みつわ会東北支部総会

平成 23 年 10 月 10 日 於パレスへいあん



(後列) 左から

細川由美子、美馬五郎、佐藤賢一、斎藤勝子、嶋原壮、涌井進、鈴木久教、佐藤友彦

(中列) 左から、

山家正良、阿部義巳、清和才二、小林亮、大矢一夫、千葉繁明、柿沼幸男、佐々木勝邦、渡辺富夫

(前列) 左から、

菊池武史、西村昌男、星利夫、大久保和彦、加藤徹三、沖賢彌、川口直樹、佐藤稔、佐藤尚義、丹治博
の皆さん



震災で延期となっていた今年の総会は、穏やかな秋の開催となりました。

今回は沖会長のご発案で、全国の会員の他、会社OBなど、会員以外の方々からの義捐金をはじめ、本部からの特別交付金、各支部からの活動支援金をも頂戴し感謝の念に堪えません。支部として、ささやかながらそのお礼の一環として、沖会長を総会にお招きすることにしました。

震災の犠牲者と会の物故者へ黙祷を捧げたあと、会に先立ち、沖会長からご挨拶をいただきました。

義捐金のことでは、阪神淡路のケースを参考にするなど、その額に苦慮したことや、銀行口座の開設に手間取ったこと、4月締め切りの募金が、追加送金が続いたために結局8月で最終になったことなどが報告されました。また、東北支部で発行した25周年記念誌「**支部の歩み**」に触れて、東北支部が「みちのく損保」などをふくめ、極めて元気に活動していることや、他支部の活動として、九州支部でパソコン教室が開かれていることなどが紹介されました。

引き続き、会長から支部に義捐金の目録が贈呈されました。



右・沖会長
左・加藤支部長

総 会

議 事

① 義捐金、他、の使途について

義 捐 金	415 名	468,000 円
特別交付金 (本部)		50,000 円
活動支援金 (各支部)		51,300 円

○支部の年会費 2000 円 2 年分 (4000 円) を免除してこれを義捐金で賄う。

○ケガと不幸があった会員二名に見舞金を送る。

○義捐金の残については流動性を持たせて義捐金会計を設け管理することとする。

○特別交付金と活動支援金は、一般会計に繰り入れて管理して、臨時会費、事務費等の一部に充当する。尚、詳細な使途については幹事会に一任するが、透明性をもって年度末に経過と会計報告を行う。

② 次年度役員について

○交代の時期は 24 年度頭とする。

○若返りを図る意味も兼ねて、支部長と副支部長の三役は交代とする。但し、現三役は幹事として留任する。他は今年度中に微調整を図る。

以上、全員一致で承認されました。



閉会の辞は清和幹事



司会は総会も懇親会も菊池幹事

支部長から、無事に今日の会に集まる事が出来てよかったこと、3 人の新入会員を迎えて喜ばしいこと、次期の役員の手配が合ったこと、義捐金と、会長に来仙頂けたことへのお礼、義捐金の使途について、の挨拶があり、続いて議長が選出されました。

佐藤 (友) 幹事から支部経過報告、柿沼会計幹事による会計報告と涌井会計監事の監査報告、大久保みちのく損保会長からそれぞれ経過報告がありました。

みちのく損保については大久保会長から特に新人に向けて、詳細に行事 (歩コール会、旅行会、ゴルフ、ダンス、マージャン、囲碁、カラオケ、LP コンサート、ジャズコンサート、料理教室等) の紹介があり、家に閉じこもることが無い様、積極的に参加することが奨励されました。

支部の傘寿祝いは星さん、京谷さん、葛西さん、菅井さん、平田さん。星さんが代表して御祝いを受けました。

おめでとうございます。

—— 感謝パーティ ——

会場を総会のシャンテホールからコーラルホールに移して、いよいよ本番(?)。



会場となったパレスへいあん

乾杯の音頭は佐藤尚義さん。
自宅は地震のダメージで、生活を営める状態になかったため、3ヶ月間娘さん夫婦宅に避難していました。



左から佐々木、千葉(繁)、阿部、嶋原、の皆さん



左から、小林、佐藤(賢)、鈴木(久)、菊池の皆さん「一気飲みじやあるまいの」



左から、細川さん、斎藤(勝)さん、畑山さん、の美女トリオ



左から、ハープトリオアンサンブルの畑山、目黒、沢田、の皆さんと星さん

これだけで感謝というのも厚かましいのですが、



会場正面に「ありがとう」

気持ちの問題です。



左から、大久保、川口、佐藤（賢）、小林、佐藤（尚）、鈴木（久）、の皆さん



左からグルット、清和、美馬、丹治、大矢、久保田推進役、西村、涌井、の皆さん



左から、久保田推進役、西村、涌井、の皆さん



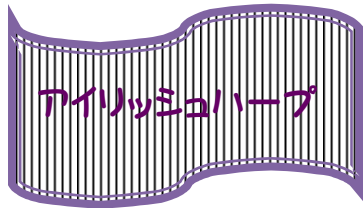
左から右回りに、渡辺、真原部長、佐藤（友）、千葉（繁）、阿部、涌井の皆さん

2ショットの好きな(?) 沖会長。左から佐々木さん、千葉さん、加藤支部長と



ゲストと新人のご挨拶・左から夏迫本部長（ナツサコと読みます）、美馬五郎さん、佐藤賢一さん





アイリッシュハーブは弦鳴楽器の一種で、元はアイルランドのハーブで近代のハーブが開発される前は広く用いられていた様です。一旦途絶えたのですが、50年後にダブリンで復元されて現代に至りました。弦が金属で出来ています。



星さんがハーピストの沢田先生とお知り合いだったことから、アトラクションとしてお呼びすることになった

「仙台アイリッシュハーブアンサンブル」の皆さんです。3台のハーブにより、曲の豊かさ、繊細さが余すところなく表現されます。では、暫し美しい音色に浸りましょう。

左から畑山さん、目黒さん、沢田先生、星さん。



5曲演奏されました。最後の「故郷」には時節柄涙を誘われました。



左から右廻りで、夏迫本部長、沖、加藤、佐々木、柿沼、佐藤稔の皆さん



左から、嶋原さん、渡辺さん、真原部長は分かれますが、後ろ姿は多分千葉さんか



斎藤勝子さんから沢田さんに花束が

—— 余 録 ——

総会前日、菊池さんの運転で、沖会長を津波被害の跡地に案内しました。三陸方面は渋滞が激しいので、亘理から山元町にかけての平野部。

今回、菊池さんには会場の手配から司会まで大変お手間をかけました。謝謝。



流失は免れても廃屋の開口部が髑髏の眼窩の様に



被害にあったお寺がありました。ご住職は住居部分をボランティアの拠点に提供していました。寺の名前は普門寺。



瓦礫の回廊。すぐ先は太平洋。



海の近くに廃墟となった山元町立中浜小学校がありました。ここから高台までは十数キロ。子供達は怎么样了のだろう。



—— 11月の行事 ——

	支 部	みちのく損保
平成 23 年 11 月 8 日 (火)	※幹事会 4時コーナー	
12 日 (土)		麻雀
17 日 (木)	※昼食会 12時「しゃぶ禅」	
22 日 (火)		京都へ歴史探訪
23 日 (水)		
24 日 (木)		

※総会の総括と総会その他の会計処理について

※出席の連絡を 11 月 11 日 (金) までに友彦さんまで。

TEL022-379-5287 携帯 090-4557-0623

メールアドレス satomo.39310@kzf.biglobe.ne.jp